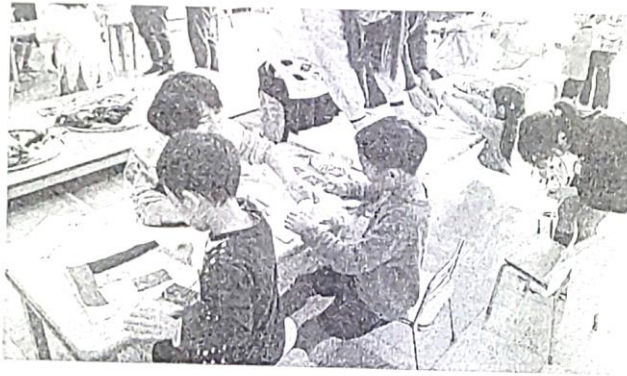


東京都荒川区立東日暮里幼稚園

東京芸大と連携し ワークショップ実施



布の端切れを貼り付け、オリジナルの服を作る子どもたち

「健康な子ども・考える子ども・思いやりのある子ども」を教育目標に、遊びや生活の充実を目指した保

育に取り組んでいる東京都荒川区立東日暮里幼稚園(末永寿宣園長、園児47人)。本年度は、東京芸術大学連

携モデル園、東京都コオーディネーションントレーニング地域拠点園として、研究と実践を進めている。

これまでに園児と保護者が粘土を使った芸術活動を行うなど、東京芸術大学との連携を深める東日暮里幼稚園。9日には5歳児たちが、簡単な服の設計・制作

・発表を体験するワークショップを実施した。

簡単な工作で平面から立体の変化を経験するとともに、地元にある繊維街の各店舗が販売する布を使うことで、地域に触れる狙いが

ある。子どもたちは学生と共に、デザイン画を描いた後、白い布袋を切って頭と腕を通す穴を空け、多様な色の布の端切れを貼ったり、クレヨンで絵柄を付けたりするなどして、オリジナルの服を完成させた。最後に、制作した服を紹介するファッションショーを行った。

「コオーディネーションントレーニング」は、日常的な遊びや生活の中にとり取り入れるかについての研究を進めている。このほど開催した公開保育と実践報告では、楽しく取り組むことができる環境構成や指導・援助の在り方を紹介した。